

再評価結果（平成29年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：川崎 茂信

事業名 一般国道56号 <small>おおがたかいりよう</small> 大方改良	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 四国地方整備局																								
起終点 自：高知県幡多郡黒潮町入野立石 至：高知県幡多郡黒潮町入野神ノ前		延長 2.6km																								
事業概要 一般国道56号は、高知県高知市を起点として、愛媛県松山市に至る全長約336kmの主要幹線道路であり、高知西南地域の産業・経済・生活を支える大動脈であり、県民の生活基盤として重要な役割を果たしている。 一般国道56号大方改良は、道路幅員が狭く、歩道がない現国道の課題を解消し、歩行者や自転車利用者の安全性向上を目的とする道路である。 また、南海トラフ巨大地震による大規模な被害が想定される黒潮町内において、総合防災拠点として黒潮町が整備を進めている黒潮町役場新庁舎と相俟って、地域住民の避難を支援するとともに、被災後の迅速な救援・啓開活動等を支援する道路である。																										
H11年度事業化 H21年度用地買収着手 H23年度工事着手																										
全体事業費 約68億円 事業進捗率 約81% 供用済延長 0.0km																										
計画交通量 7,700～12,900 台/日																										
費用対効果分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center;">B/C</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">1.001</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">総費用</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">(残事業)/(事業全体) 20/81億円</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">総便益</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">(残事業)/(事業全体) 81/81億円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(事業全体)</td> <td></td> <td style="text-align: center;">(事業費)</td> <td></td> <td style="text-align: center;">(残事業)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(残事業)</td> <td style="text-align: center;">4.0</td> <td style="text-align: center;">(事業費)</td> <td style="text-align: center;">10 / 71億円</td> <td style="text-align: center;">(残事業)</td> <td style="text-align: center;">1.8 / 1.8億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">(維持管理費)</td> <td style="text-align: center;">11 / 11億円</td> <td style="text-align: center;">(残事業)</td> <td style="text-align: center;">0.4 / 0.4億円</td> </tr> </table>	B/C	1.001	総費用	(残事業)/(事業全体) 20/81億円	総便益	(残事業)/(事業全体) 81/81億円	(事業全体)		(事業費)		(残事業)		(残事業)	4.0	(事業費)	10 / 71億円	(残事業)	1.8 / 1.8億円			(維持管理費)	11 / 11億円	(残事業)	0.4 / 0.4億円	基準年 平成28年
B/C	1.001	総費用	(残事業)/(事業全体) 20/81億円	総便益	(残事業)/(事業全体) 81/81億円																					
(事業全体)		(事業費)		(残事業)																						
(残事業)	4.0	(事業費)	10 / 71億円	(残事業)	1.8 / 1.8億円																					
		(維持管理費)	11 / 11億円	(残事業)	0.4 / 0.4億円																					
感度分析の結果 (事業全体)交通量 : B/C=0.9～1.2 (交通量 ±10%) (残事業)交通量 : B/C=3.4～4.6 (交通量 ±10%) 事業費 : B/C=0.99～1.01 (事業費 ±10%) 事業費 : B/C=3.8～4.2 (事業費 ±10%) 事業期間 : B/C=0.96～1.04 (事業期間±20%) 事業期間 : B/C=3.9～4.0 (事業期間±20%)																										
事業の効果等 ①円滑なモビリティの確保 ・現道等の時間損失の削減が見込まれる。 ・現道等の旅行速度が改善される。 ・現道等の路線バスの利便性や快適性の向上が見込まれる。 ・下田の口地区から土佐入野駅（特急停車駅）までの所要時間の短縮が見込まれる。 ・四万十市から高知龍馬空港（第二種空港）までの所要時間短縮が見込まれる。 ②物流効率化の支援 ・農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる。 ③国土・地域ネットワークの構築 ・日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が期待される。 ④個性ある地域の形成 ・主要な観光地へのアクセス向上が期待される。 ・新規整備の公共公益施設（総合防災拠点（黒潮町役場新庁舎））へ直結する道路である。 ⑤安全な生活環境の確保 ・バイパスへの交通転換により現道の交通安全性が向上する。【現道：自動車11,025台/12h，スーパー前交差点における交通量：歩行者等217人/12h】 ⑥災害への備え ・第一次緊急輸送道路として信頼性が高い道路ネットワークを形成する。 ⑦地球環境の保全 ・CO2排出量の削減が見込まれる。 ⑧生活環境の改善・保全 ・NO2排出量の削減が見込まれる。 ・SPM排出量の削減が見込まれる。 ・環境基準値を上回る騒音の解消が期待される。																										

⑨その他

- ・黒潮町のまちづくりと一体的に整備する必要あり。
- ・渋滞や駐車・停車車両の影響を受けない広幅員の道路構造となることで二次医療施設（幡多けんみん病院）へのアクセス性の向上が期待される。

関係する地方公共団体等の意見

- ・一般国道56号バイパス建設促進期成同盟会（平成27年11月）や四国西南地域道路整備促進協議会（平成27年10月、12月）等より、積極的な整備促進要望を受けている。

高知県知事の意見：

- ・事業継続に異議はありません。
- 一般国道56号大方改良は、道路幅員が狭く、歩道がない現国道の課題を解消し、歩行者や自転車利用者の安全性向上につながります。さらに、黒潮町が整備を進めている黒潮町役場新庁舎へのアクセス道路となり、南海トラフ地震発生時には迅速な応急復旧活動に資する重要な路線です。このため、国においては早期の供用を目指し、より一層の事業進捗をお願いします。

事業評価監視委員会の意見

「事業継続」とする事業者の判断は「妥当」である。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・平成21年3月 須崎道路 L=4.6km 2車線供用、中村宿毛道路（四万十IC～間IC）L=6.1km 2車線供用
- ・平成21年11月 中村宿毛道路（下田交差点～右山交差点）L=0.85km 4車化供用
- ・平成22年3月 宇和島道路（津島高田IC～宇和島南IC）L=7.8km 2車線供用、中村宿毛道路（古津賀地区）L=0.4km 4車化供用
- ・平成23年3月 高知自動車道（中土佐IC～須崎西IC）L=7.0km 2車線供用
- ・平成24年12月 高知自動車道（中土佐IC～四万十町中央IC）L=14.8km 2車線供用

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・平成27年度末時点で用地進捗率約95%、事業進捗率約81%。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・早期供用に向け、調査設計、用地買収、改良工事を推進。

施設の構造や工法の変更等

- ・今後も新技術、新工法の採用による工事コストの縮減に加えて、施設の長寿命化や維持管理を考慮した構造の採用等、総コストの縮減に努めていくこととする。

対応方針 事業継続

対応方針決定の理由

- ・以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。